

「安心」「安全」をコープで!

耐震診断 耐震工事

住まいの耐震診断・耐震工事しませんか？

ここ最近でも各地で様々な規模の地震が発生しております。熊本・新潟・北海道地震といつ来てもおおしくない南海トラフ地震!倒壊から命を守るために「今できること」=減災「耐震工事」を…。私共も2016年からは、行政の依頼も含め60件近い「耐震診断」を行いました。診断結果に基づいて、現在多くの耐震工事を実施しております。平成以降に建てられたお家でも、現在の新耐震基準を満たしているわけではありません。「来てからでは…」費用は掛かりますが出来るだけ早く「安心の保障」を!是非、リフォームをお考えの時に診断を考えてみてください。



より良くくらしのために! コープだからこそそのクオリティ、安心の保障を。



**愛媛県内全市町で
木造住宅の耐震診断・
耐震改修の補助金
があります!**

1981(昭和56)年の建築基準法の改正から新しい耐震基準(いわゆる新耐震基準)が定められました。実際にそれ以前の建築物は、この間の各地での地震でも大きな被害が報告されました。この新耐震基準以前に建てられたお家にお住まいの方は、ぜひ一度耐震診断を受けられることをおすすめします。新耐震基準以降に建てられたお家も、大きな地震により倒壊した家屋もありより耐震性を高め、安心できるお家に住みたいものです。

詳しくはコープ住まいまでお問い合わせください。

※各市町で戸数枠がありますので注意してください。

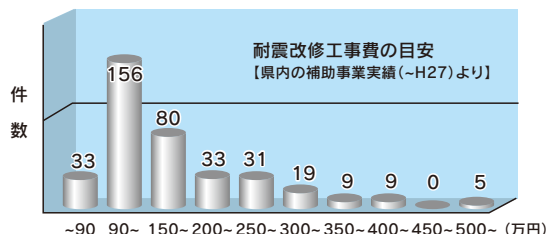
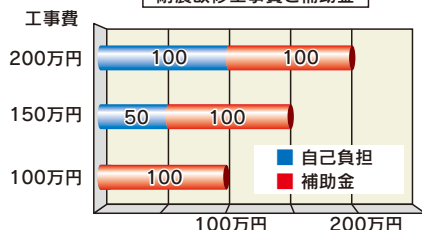
補助金を利用して おトクに耐震工事が 出来ます!



●耐震改修工事費

耐震改修工事費は、住宅の規模や状態により違いがあり、100~150万程度が最も多くなっていますが、市町の補助制度や税制優遇制度を利用すれば自己負担を少なく出来ます。

耐震改修工事費と補助金



●耐震診断から耐震改修へ

耐震改修工事

チェック!

補助上限 100万円~

(定額補助)

※100万円までは、全額補助しています。

コープ住まい リフォーム事例

コープの住宅会社「コープ住まい」で耐震診断を受け、
リフォームをされた組合員さんに、お話をお伺いしました。

安心して暮らせます。気になるところは、もうありません。



◀普通の壁に見えますが、「この耐力壁で、しっかり家が守られているんですよ」。

松山市/Oさん

熊本地震をきっかけに、 耐震診断を受けることに。

我が家は新耐震基準が制定された「1981年6月」より前に建てられており(1970年築)、耐震に関して不安がありました。そして2016年の熊本地震をきっかけに、耐震リフォームをすることにしました。



まず、コープ住まいさんの耐震診断※を受けました。家中しっかりと確認され、写真付きの「調査報告書」で報告していただきました。診断結果をもとに、耐震補強の箇所について丁寧に説明いただいたので、納得した上でリフォームに入りました。

▲「調査報告書は、本当に細かいところまで記録されていて、プロの仕事だと感じました」とOさん

0邸の耐震リフォーム工事の内容

屋根 → 屋根の軽量化

屋根が重いと建物の重心が高くなり、揺れ幅が大きくなります。今回は、メンテナンスが楽で軽い屋根に葺き替えました。

柱・内壁 → 耐震補強による構造強化

柱に筋交いを入れたり、柱の接合部分を金物プレートで留めるなどで補強した「耐力壁(たいりょくへき)」を採用し、建物をしっかりと支える構造になりました。



▲筋交いを入れて補強



▲柱の接合部分の補強金物

さらに壁には断熱材も入れ、外壁は「サイディング」という耐火性や耐久性に優れて汚れも目立ちにくいものに。もう、これ以上気になることはないくらい満足しています。阪神・淡路大震災の時はかなり揺れましたが、今年4月の鳥取地震は、ほとんど感じず、耐震リフォームの効果を実感しました。耐震対策はバッチリのこの家で、これからも安心して暮らしていきたいと思ひます。



コープの耐震診断

私が責任をもって診断します!

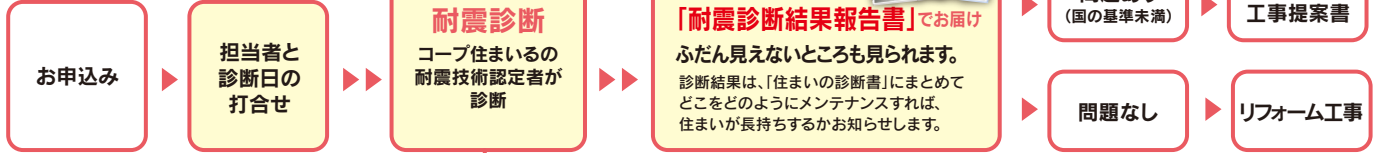


コープ住まいの耐震診断士

診断の流れ

愛媛県が主催の木造住宅耐震診断講習会を受講した耐震診断技術者(コープ住まいの1級建築士事務所所属建築士)が診断にお伺いします。

診断結果に基づきよろしければお見積もりいたします。



※耐震設計は別途費用がかかります。

診断項目

建物の構造、築年数、間取り、壁・柱・床・外壁の仕様と状況調査、床下・屋根裏などの構造確認と劣化調査、壁・基礎の亀裂・ずれ調査などから家の強さを判断します。

間き取り調査や写真撮影を行います。所要時間は、約2~3時間です。



鉄筋の調査



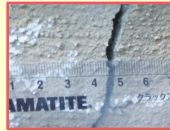
床の傾き調査



屋根裏調査



床下調査



基礎亀裂調査



基礎強度調査

耐震診断及び耐震改修設計 組合員価格表

耐震診断	受けない場合	補助金	昭和56年5月31日以前着工 (耐震改修工事に至った場合は半額)	55,000円 (税込)	耐震診断	補助金利用 各市町村の	評価機関による評価料 (評価委員会)	3,000円 (税込)
			昭和56年5月31日以降着工 (耐震改修工事に至った場合は半額)	55,000円 (税込)			評価機関による評価料 (愛媛建築住宅センター)	9,900円 (税込)

※令和3年4月現在



コープの耐震工事



壁編

内壁を替えるだけでも、耐震対策をすることができます。

一般的な耐震補強をする場合は、「床」や「天井」を壊して施工します。それが低コスト工法の場合は、「床」「天井」を壊さずに施工できます。そのため施工期間の短縮や施工コストの削減を実現することができます。

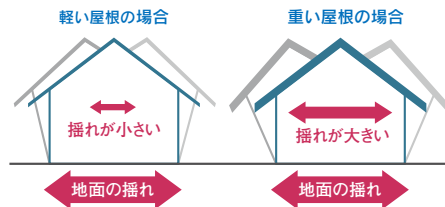
一般的な補強の場合 低コスト工法の場合 構造用合板設置の場合



屋根編

軽い屋根に替えて、耐震対策を実現することができます。

地震による建物の負荷は、建物の重さに比例して増大します。また屋根が重いと建物の重心が高くなり、揺れ幅はいつそう大きくなります。



基礎・金物編

一般的な住宅の場合は「基礎・床・壁・天井」等の耐震工事となります。

S.56年以前の住宅や丸ごとリフォームが必要な住宅の場合は右記のような基礎から、構造までの大掛かりな工事で「安心」を実現できます。



▲基礎工事



▲金具の取付

●コープえひめにご加入いただいた後からのご利用となります。(1,000円の出資金でいつでもご加入いただけます。)



お問い合わせは

0120-925-511

